

I. はじめに

千曲市に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風による被災から1年半が経ちました。被害の大きさから、いまだ元通りの生活を取り戻すことができない方もいらっしゃると思います。あらためまして被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

今日までに被災施設の復旧は進んでいますが、その一方で世界的な新型コロナウイルスの発生・感染拡大により、市民生活は再び大きな影響を受けることとなりました。

そうした中での「千曲市復興計画」の策定となりましたが、計画策定までの間、被災地区での説明会や地域懇談会、市民アンケートにより市民の皆様のお考えをお聞きするとともに、地域の代表や有識者、公募の委員から構成される復興計画策定委員会からも幅広いご意見をいただきました。

本計画では、皆様からの貴重なご意見をふまえ、もう一度千曲市が「安心なまち」となれるよう、治水対策をはじめとした各種施策を取りまとめました。また、本計画は今後、千曲市総合計画に内包され、市の基本目標の一つである「災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまちづくり」を担います。

災害からの復興には長い期間が必要となります。また、災害規模が大きくなっている近年の状況から、いつ何時、次の災害に襲われるか分かりません。復興を成し遂げることにとどまらず、より一層災害に強い千曲市とするため、市民の皆様のご協力をいただきながら、計画に盛り込んだすべての施策に全力で取り組んでまいります。

結びに、災害に際してご支援いただいた多くの皆様、また本計画策定のためにご尽力いただきました千曲市復興計画策定委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

令和3年3月

千曲市長 小川 修一